

# 路面標示工の作業手順

作業の目的

新設・摩耗した路面標示の塗替等を目的とした路面標示を設置するもの

	内 容	留 意 事 項
準備工	作業内容・位置の確認 作業人員・健康状態の確認 工具・資機材・飛散防止の点検・確認	ミーティング日誌の記入 待機場所から工事車両の進入順序確認 安全チョッキ・工事用車両幕の固定確認 資機材等(夜間は照明具)の動作確認数量確認
規制内流入	車両の進入順序の確認 進入箇所(KP)の確認 ハザードランプを点灯し、後方確認をし流入手前でウインカーに切り替え流入する。 ※状況によりスモールライト等で保安員への合図を行う	進入の際は1台ずつ間隔を空けて進入すること <b>規制内に進入した後、すぐに停車しない (誤進入した車両との接触(追突)があるため)</b>
車両停車(規制内)	サイドブレーキを引き、 通行車線と反対側にハンドルを切り、 通行車線と反対側の後輪に輪止めをする。	運転席側から降りるときは一般車両がいない時に行う。 <b>車両の後退等は、必ず誘導員合図で行うこと。</b>
施工位置確認	施工箇所を確認する。	安全な作業環境を整える。(規制材設置、照明等設置)
墨だし	路面標示の施工箇所に位置だしを行う。	通行車線側へ出ないように注意する。
プライマー塗布	塗布前に、路面を清掃する。 プライマーの塗布	通行車線側へ出ないように注意する。
溶融材料塗布	溶融材料の塗布	通行車線側へ出ないように注意する。
養生	施工した路面標示を指触にて確認をする	
片付工・離脱	保安員との合図確認を行う	離脱する際は1台ずつ間隔を空けて保安員の合図で流出する。 <b>運転手本人もミラー・目視等で確認すること。</b>